

平和で豊かな社会を子供たちのために！

核兵器廃絶と平和を求める福島県民集会

～県内各地から300名が核なき世界を求めて結集～

連合福島主催による「2014年核兵器廃絶と平和を求める福島県民集会」は、8月30日（土）福島市にある福島県教育会館大ホールにおいて、県内各地の加盟組織から約300名が結集して開かれた。

冒頭、主催者を代表して今泉裕連合福島会長は「広島、長崎に原爆が投下されて69年が経過した。日本は世界で唯一の被爆国として、世界平和に果たす役割と責任は極めて大きい。世界にはまだ

1万7千発

の原子爆弾

主催者を代表して挨拶する今泉裕連合福島会長が現存し、世界平和の大きな脅威となっている。これからご講演される坪井先生のお話を、是非ご家族の方々、友人の方々に伝えて頂きたい。平和で豊かな社会を子どもたちのため



ご講演を頂いた坪井直(すなお)理事長に！」と挨拶した。

引き続いて広島県原爆被害者団体協議会理事長の坪井直

(すなお)氏

にお越し頂き、「語り部（被爆者）の体験談」と題して講演を頂いた。坪井理事長は被爆者としてご自身が体験した生々しいお話をされ、「一発で20万人が死んでしまう原爆を、人類として絶対許してはならない。」と強く訴えた。

最後に核兵器による悲惨な被害が二度と起こらないように、今後も継続して平和運動を粘り強く取り組んで行くとした、「2014フクシマからの平和アピール宣言」を採択して、平和を求める福島県民集会は閉会となった。



平和アピール宣言を読み上げる八巻執行委員



熱心に傾聴する参加者の皆さん